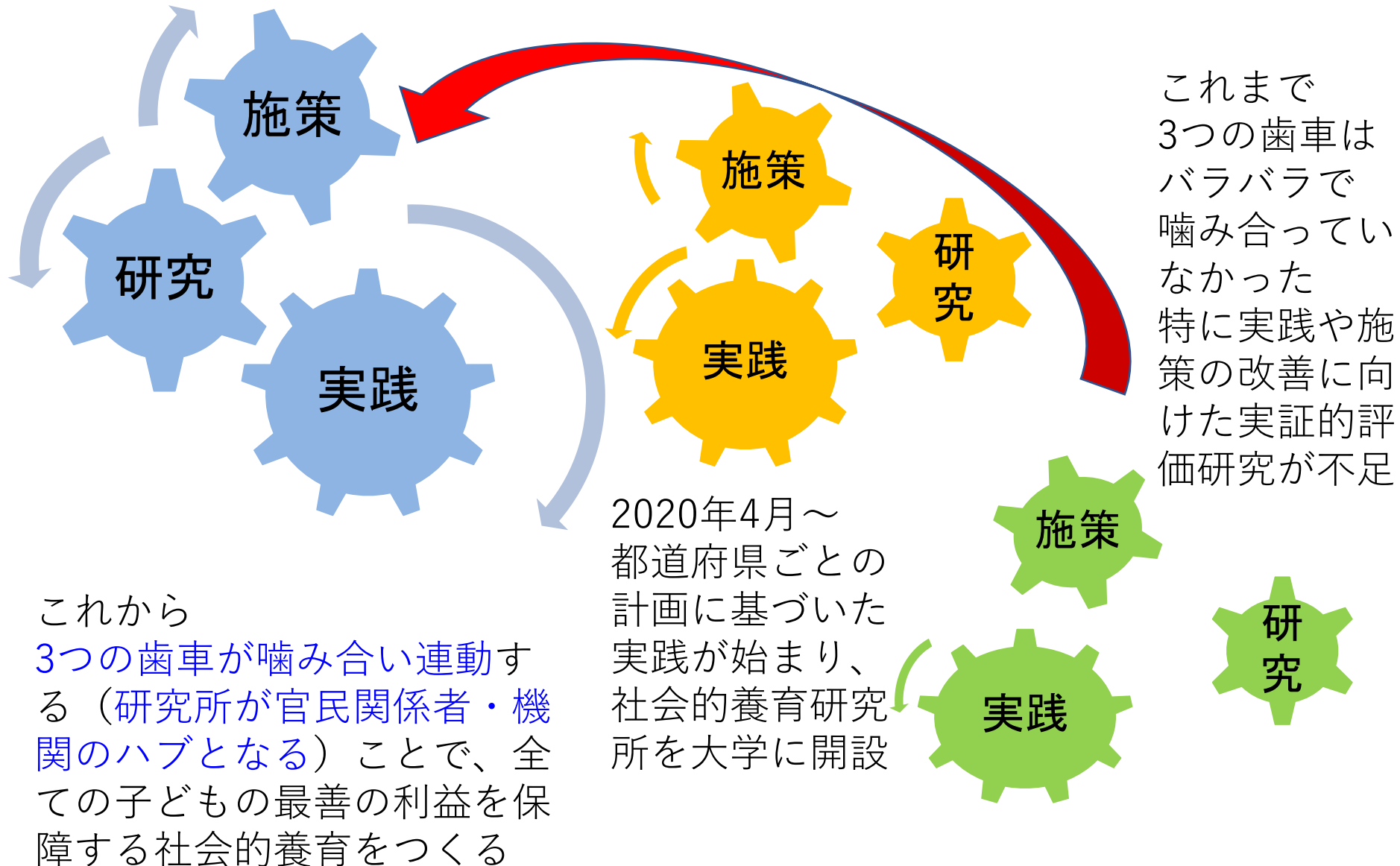


# 早稲田大学社会的養育研究所

<https://waseda-ricsc.jp/>

- 2016年改正児童福祉法に初めて子どもの権利と家庭養育優先原則が示され、**社会的養育体制構築の大変革期**を迎えた。
- 2020年度から各自治体は5・10年の計画を策定し実践展開。
- 2022年の法改正を経て**さらなる発展**が期待されている。
- 2020年4月に社会的養育研究所を開設し、7月より日本財団助成を受けて新たなシステムの構築に向けて評価研究、実践現場への情報提供やプログラム開発・導入等に取り組む。
- 2021/22年度厚生労働省調査研究事業として社会的養育推進計画の策定・実践に向けた調査研究実施。国、自治体、民間、関連領域様々な分野の専門家や研究者を**つなげる役割**も担う。

# 研究・実践・施策を連動させた社会的養育の構築



## 【プロジェクト概要】

- 1 社会的養育に関するエビデンス・情報の整理・蓄積と提供  
厚生労働省令和3年度・4年度調査研究事業として社会的養育推進計画の実践に向けた調査研究  
子ども家庭ソーシャルワーカーの養成のあり方に関する調査研究
- 2 新しい社会的養育実践に必要なプログラム・システム等の開発・導入
  - ①里親候補アセスメント方法開発
  - ②Skills to Foster（登録前研修）日本版開発
  - ③包括的乳幼児里親養育支援のためのプログラム開発、トレーニング・コンサルテーション
  - ④フォスタリング機関評価方法の検討・開発
  - ⑤親子分離予防ソーシャルワークの実態把握（2022年度より）
  - ⑥保護者支援プログラム活用促進に向けた取り組み（2022年度から）
- 3 自治体モデルプロジェクト実施のサポート・評価
- 4 関係者ネットワークの構築と人材育成
- 5 子ども当事者の意見聴取、研究所事業への反映
- 6 関係者・機関、社会全体に向けての発信・協働の呼びかけ

「子どものために」で終わらせない

「子どものために」



**子どもの声を聴く  
成果を客観的に評価する**



「子どもとともに」

# 早稲田大学

## 社会的養育研究所

# 事業報告会

2023年  
3月25日(土)  
13:00~16:30

会場：早稲田大学121号館  
コマツ100周年記念ホール  
参加費無料

### 趣旨・概要

早稲田大学社会的養育研究所は2020年度4月に開設され、同年7月より日本財団の助成を受けて、新たな社会的養育システムの構築に向けての調査研究、実際の現場の様々なニーズに応じた情報提供やプログラムの開発・導入に取り組んで参りました。

この度、開設3年目を迎え、これまでの調査研究・研修実施・翻訳出版等の取組を共有し広く知っていただくとともに、今後の研究所の方向性や取組にご示唆を頂く機会として、報告会を開催いたします。

### 参加対象

当研究所にご関心のある方は、どなたでもご参加できます。

### 開催形式

ハイブリット開催

オンライン  
zoom

対面

### 申込方法

電子メールにて以下の事項を明記の上お申込みください。

①お名前 ②ご所属 ③ご連絡先メールアドレス ④ご参加形式(対面もしくはオンライン)

お問い合わせ・お申込みメールアドレス  
[weseda.ricsc@gmail.com](mailto:weseda.ricsc@gmail.com)

お申込み〆切  
2023年 月 日

主催



Research Institute for Children's Social Care  
早稲田大学 社会的養育研究所



Supported by  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

## 開催プログラム

1

開会のご挨拶

2

研究所設立の経緯と概要

3

研究所の取り組みについて

①

新しい社会的養育実践に必要なプログラム・システム等の開発・導入

1. フォスタリング・アセスメント方法開発
2. Skills to Foster (里親登録前研修) 日本版開発
3. 乳幼児里親支援研修開発プロジェクト
4. フォスタリング機関評価方法の検討・開発
5. 親子分離予防ソーシャルワークの実態把握
6. 保護者支援プログラム活用促進に向けた取り組み

②

自治体モデルプロジェクト実施のサポート・評価

1. 大分県
2. 福岡市
3. 山梨県

③

① 自治体モデルプロジェクト実施のサポート・評価

1. 英国オクスフォード大学リーズセンターの論文翻訳
2. 出版書籍(予定含む)の紹介
3. 厚生労働省 令和3、4年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
4. 子ども家庭ソーシャルワーカーの養成のあり方に関する調査研究

② 子ども当事者から意見聴取、研究所事業への反映

③ 関係者ネットワークの構築と人材育成

④ 関係者・機関、社会全体に向けての発信・協働の呼びかけ

4

質疑応答、研究所への期待・提案など

5

閉会のご挨拶

